

安全データシート【SDS】

1. 化学物質等および会社情報

P1/4

製品名	: コピカ (copica)
製品コード	: 29-xxx-MK (xxxは色番)
推奨用途	: トナーおよびUV樹脂熱反応転写箔
使用上の制限	: プラスチックフィルムまたはシートは不可

会社情報

会社名	: 株式会社 コーテック
住所	: 東京都品川区北品川4-2-1御殿山アネックス2号館1階
電話番号	: 03-6277-3533 (緊急連絡先・問い合わせ)
ファックス番号	: 03-6277-3651
電子メールアドレス	: tokyo@coatech.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	: 分類基準に該当しない
健康に対する有害性	: 分類基準に該当しない
環境に対する有害性	: 分類基準に該当しない

GHSラベル要素

シンボル (絵表示)	: なし
注意喚起語	: なし
危険有害性情報	: 本製品はフィルム状の製品であり通常の取り扱いにおいては「吸入」「眼に入る」「誤飲」に対する障害は予見されない。但し、二次加工において、裁断・加熱などの際に発生するガス・粉塵・裁断屑などの危険性は、4項の応急処置に示す。
注意書き	: なし

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区分	: 混合物
化学名または一般名	: 転写箔 (アルミニウム蒸着箔)
(組成) 単一	: ポリエチレンテレフタレート (CAS No.25088-59-9)
単一	: アルミニウム[99.99%] (CAS No.7429-90-5)
混合物	: 合成樹脂 (登録済み)
積層	: アクリル・ポリプロピレン混合樹脂(登録済み)
(成分) PET樹脂	: 80%[染料分1-2%顔料分3%] (フィルム)

4. 応急措置

吸入した場合	: 本製品の加熱や裁断に起因し発生した、ガス・粉塵・裁断屑を吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移動し、鼻をかみ、うがいをする。異常を感じる場合、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 裁断や二次加工に起因し発生した裁断屑・粉塵または粉末が付着した場合は、水やお湯で石鹸などを使用し洗い流す。外観の変化や痛みがある場合には医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 裁断屑・粉塵または粉末が眼に入った場合は、直ちに清浄な水で最低15分間洗浄し刺激が続く場合は眼科医師の診断を受ける。
応急処置をする者の保護	: 場合によっては、保護具を着ける。
眼に入った場合	: この安全データシート内容を確認すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 水、泡消火剤、粉末消火剤を用いることができる。
消火方法	: 消火剤を用いて風上から消火作業を行う。
消火を行う者の保護	: 消火を行うときは必ず、呼吸用保護具・耐熱着衣を装着して作業する。
特定の危険有害性	: 燃焼または熱分解により一酸化炭素や有害ガスが発生する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項	: 本製品の形状から漏出することはありません。
環境に対する注意事項	: 本製品の形状から漏出することはありません。
封じ込め・浄化方法・機材	: 本製品の形状から漏出することはありません。
二次災害の防止策	: 付近の着火源を速やかに除き消火剤を準備する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 通常の手扱いにおいては必要ありません。
安全取扱い注意事項	: 通常の手扱いにおいては必要ありません。
接触回避	: 通常の手扱いにおいては必要ありません。

保管

安全な保管条件	: 直射日光・高温多湿を避け、水濡れに注意し火気を使用しないこと。
安全な容器包装材料	: 出荷形態（段ボール・ポリ袋）を推奨し積み上げないこと。二次加工後の保管については適用されません。

8. ばく露防止および保護処置

管理濃度	: 設定されていない(厚生労働省告示第26号)
許容濃度	: 日本産業衛生学会とACGIHともに、粉塵に関する許容濃度は、定めていないが、以下の値が妥当と考える。 時間加重平均値の情報なし（日本産業衛生学会勧告値3値粉塵） 吸入性粉塵 $2\text{mg}/\text{m}^3$ ・総粉塵 $8\text{mg}/\text{m}^3$ R.particulate : $3\text{mg}/\text{m}^3$ ・L.particulate : $10\text{mg}/\text{m}^3$ (ACGIH勧告値の他に分類されていない粒子)
設備対策	: 二次加工において、静電気を発生するおそれがあるため、加工機には、適した静電気除去装置を設置する必要があります。

保護具

呼吸用保護具	: 二次加工において裁断屑・粉塵飛散保護用マスクの着用が望ましい。
手の保護具	: 二次加工において裁断片のケガ防止に軍手等の着用が望ましい。
眼、顔面の保護具	: 二次加工において裁断屑・粉塵飛散保護用ゴーグルの着用が望ましい。
皮膚および身体の保護具	: 二次加工において帯電防止対策の作業服や安全靴の着用が望ましい。

9. 物理的および化学的性質

物理的状态

物理状态	: ロール状（フィルム）
色	: 表面は金または銀および色、裏面は灰色
臭い	: ほぼ無臭（やや顔料臭あり）

化学的状態

融点・凝固点	: 融点 255°C （ポリエステルフィルム）
引火点	: 345°C （ポリエステルフィルム）
発火点	: 508°C （ポリエステルフィルム）
発火性	: 自然発火性および水との反応なし

pH値	: 情報なし
比重・相対密度	: ポリエステルフィルム比重1.4
溶解度	: 水に不溶（混合物は溶剤にやや溶ける）
蒸気圧	: 固体のため安定

10. 安全性および反応性

反応性	: 一般の環境下、保管および輸送条件では反応しない。
化学的安定性	: 一般の環境下、保管および輸送条件では安定している。
危険有害反応可能性	: 危険な重合は起こらない。
避けるべき条件	: 直射日光・高温多湿は避け、火気は使用しない。
混蝕危険物質	: 溶剤に可溶なため避ける。
危険有害な分解生成物	: 加熱または燃焼時に二酸化炭素・分解生成物を発生する可能性がある。

11. 有害性情報（本製品のデータはないが、参考に構成成分のデータを示す）

急性毒性

急性毒性（経口）	: 経口ラット飼料4%配合55週間摂食影響なし（ポリエステルフィルム）
急性毒性（経皮・吸入）	: 知見なし
皮膚腐食性・刺激性	: 焼却時に樹脂が分解し刺激臭の煙や蒸気が発生したとき刺激がある。
眼に重篤な損傷・眼刺激性	: 焼却時に樹脂が分解し煙や蒸気が発生したとき眼に刺激がある。
呼吸器感受性	: 知見なし
皮膚感感受性	: 知見なし
生殖細胞変異原性	: 知見なし
発がん性	: 「ヒトに対する発ガン性について分類できない」と分類されている。
生殖毒性・授乳影響	: 知見なし

特定標的臓器毒性

単回ばく露	: 知見なし
反復ばく露	: 知見なし
誤えん有害性	: 知見なし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性	: 有害性は極めて低いが、海洋生物または鳥類が摂取するのを防止するため海洋水域では投棄してはならない。（短期/急性・長期/慢性）
残留性・分解性	: 難分解性
生態蓄積性	: 知見なし
土壤中の移動性	: 知見なし
オゾン層への有害性	: 知見なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 本製品は「廃プラスチック類」として、廃棄物処理法または関連法規ならびに地方自治体条例の基準に従うこと。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者に危険性、有害性を告知のうえ、処理を委託する。
汚染容器および包装	: 本製品の包装材料についても上記に示した内容で実施すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	: 国連の定義上、危険物に該当しない。
国内規制	: 海上・航空・陸上規制の危険物に該当しない。
特別な安全上の対策	: 輸送に際しては直射日光を避け、破損、腐食漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にし重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 廃棄物の処理及び清掃に関する法規(産業廃棄物・廃プラスチック類)
化学物質管理促進法	: 該当なし (PRTR法)
毒物および劇物取締法	: 該当なし
消防法	: 指定可燃物(合成樹脂類・数量3,000kg以上)
廃棄物処理法	: 産業廃棄物「廃プラスチック類」

16. その他の情報

- ・本製品は、トナーまたはUV樹脂に対して熱反応し転写しますが、UV樹脂全てに対応していません。また温度などの加工条件に十分注意のうえ、ご使用下さい。
- ・本SDSは、JIS Z7253:2019に準拠して作成しています。
- ・本SDSの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますので、使用原料の情報変更により、本SDSの情報が変更される可能性があります。
- ・本SDSは、その製品を代表する値であり、安全や品質の保証、規格ではありません。
- ・本製品の取扱いは、記載内容を参考に使用者の責任において実態に即した安全対策を講じて下さい。
- ・本SDSは、日本国内法を基に作成しています。本製品および本製品を含む化学物質を輸出する際は、外為法や輸出先国の法律に従った対応を必ず行って下さい。
- ・本SDSは、PETフィルムおよび合成樹脂のSDSを元に工業用途について、一般的な取扱いを前提に作成しています。化管法に基づくSDS制度対象事業者判定フローより、提供義務及び、ラベル表示の努力義務はありません。

参考文献

プラスチックの燃焼性工業調査会・食品用プラスチック衛生学厚生省環境衛生局食品化学課編